

笹川記念保健協力財団 地域啓発活動助成

(西暦) 2018 年 2 月 5 日

公益財団法人 笹川記念保健協力財団
会 長 喜 多 悦 子 殿

2017 年度地域啓発活動助成

活 動 報 告 書

標記について、下記の通り活動報告書を添付し提出いたします。

記

活動課題

ちえのわ ～ 街なかカフェ ～ がんと暮らしの知恵いろいろ

活動団体名： NPO 法人 市民と共に創るホスピスケアの会

活動者（助成申請者）名： 川村 三希子

I. 活動の目的

本活動は、①一般市民に対するがんの予防・意識啓発、②がん患者・家族に対する相談支援を行うことにより、療養上の課題に対する対処力を高めることを目的としている。

地下歩行空間の休日の通行者は約6万人で各年齢・男女比も同率であることが示されているため、がんの罹患世代だけではなく、がんに関心の薄い若年層や子ども世代に対しても、効果的な情報発信をしていけることが特徴である。また、人通りの多いオープンスペースで行う無料のがん相談は、がん患者・家族が些細な気がかりでも気軽に相談できアクセスビリティの良さが特徴である。専門家や同病者に相談した体験は、リソースを活用すること・相談することのメリットを実感することになり、長期にわたる療養生活において、患者・家族の対処力の向上にもつながることを目指している。

II. 活動の内容・実施経過

1. 活動内容

- ① テーマ: ちえのわ 街なかカフェ ―がんと暮らしの知恵いろいろ―
- ② 日時: 8月20日(日) 10:00~15:00
- ③ 場所: 札幌駅前通地下歩行空間 北3条交差点広場・西
- ④ 内容: 主な企画は以下の4点である。

◆ミニ講演会

講演①: がんってどんな病気? がんとがんの予防 (医師: 小林)

講演②: 在宅医療について〜がんになっても家で過ごせます (医師: 吉崎)

講演③: がんの療養とお金のこと〜気になる医療費など (MSW: 下倉)

◆専門家によるがんの無料相談

医師、看護師、社会福祉士、栄養師、ピアサポーターなどが対応した。

◆『癒しの樹』プロジェクト: がんと向き合う人にメッセージを贈ろう!

《市民だれもが、がんを身近に感じ、がんと向き合う人を応援する街にしたい》 そんな思いから、“がんになっても前向きに生きる患者さんへの癒しの樹” “がん患者さんをしっかり支える家族や知人の方々への癒しの樹” “がん患者さんの治療やケアに取り組むスタッフの方々への癒しの樹” に、会場へお越しのみなさんに、葉っぱにメッセージを書いていただき、貼ります。参加した方には、バルンアートをプレゼントした。

◆情報コーナー

がんに関するパンフレット、患者会紹介など

2. 協力スタッフ

開催にあたり、これまで協力いただいた専門看護師、認定看護師、医師を中心に協力を募った。また、北海道がん対策担当者の協力も得ることができた。

協力スタッフは計57名であった。内訳は医師8名、看護師14名、管理栄養士1名、

MSW3名、社会保険労務士2名、ピアサポーター7名、学生4名、当会スタッフボランティア7名、ちえのわスタッフ8名、北海道庁職員3名であった。

III. 活動の成果

1. 参加者人数とアンケート結果（資料1）

当日の参加人数は計570名であった。そのうち、ミニ講演会、相談イベント、癒しの樹プロジェクトに参加した参加者に対しアンケート調査を実施し80名から回答を得た。

参加した理由は、「知りたい情報があった」が41%、「通りがかって何となく」が36.3%、「相談したいことがあった」が18.8%であった。参加した満足度は、「満足」が61.3%、「やや満足」が21.3%であった。満足の理由として「わかりやすかった、勉強になった」「気軽にいろいろな情報が聞けた」「不安に思っていることを相談できた」などであった。

2. 相談者人数と相談内容（資料2）

相談人数は32名で男性10名、女性22名であった。立場は、患者が18名、家族が9名、友人が1名、その他が4名であった。年代は60代が最も多く11名、次いで70代が8名であった。相談対応をした職種は看護師が23名、医師が6名、社労士が4名、MSWが3名、栄養士が2名、ピアへの相談はなかった。

相談内容は、「がん検診・予防」についてが10名、「経済的相談」が6名、「症状・副作用・後遺症に関する相談」、「受診・セカンドオピニオンに関する相談」、「食事・栄養に関する相談」、「在宅療法の相談」、「患者への支援方法・家族に悲嘆」、「職場の問題・就労の問題」、「再発・今後の不安」がそれぞれ3名であった。また、「治療方針に関する相談」、「家族とのコミュニケーションに関する相談」がそれぞれ2名、「医療者とのコミュニケーション」が1名、「その他」が5名であった。

3. 癒しの樹プロジェクト（資料3）

3本の癒しの樹には、約60件のメッセージが寄せられた。
本活動後に、癒しの樹は、北海道庁と北海道がんセンターのイベントにも掲示された。

IV. 今後の課題

開催時期が夏季休暇の最終日曜日ということもあり、地下歩行空間の人通りは例年よりも少なかった。今後は開催時期を考慮する必要がある。

V. 活動の成果等の公表予定

緩和医療学会等に公表予定である。

街なかちえのわ 参加者アンケート集計結果

アンケート回答者

80 名

Q1 何で知りましたか（複数回答）

	人数（人）	割合（％）	自由回答
1 チラシ・ポスター	17	21.3	病院（5）、患者会、職場、講演会 北海道新聞（4）、まんまる新聞
2 新聞	15	18.8	
3 インターネット	3	3.8	
4 通りがかり	42	52.5	友人（2）、先輩、病院、ML、参加者
5 その他	7	8.8	
99 無回答	0	0.0	

Q2 参加した理由（複数回答）

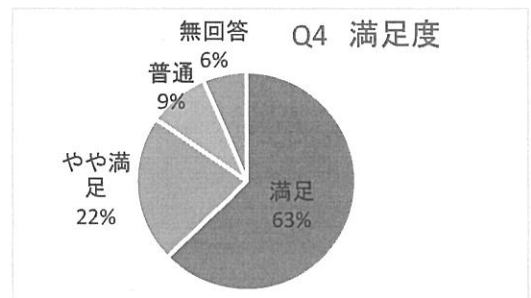
	人数（人）	割合（％）	自由回答
1 知りたい情報があった	33	41.3	
2 相談したいことがあった	15	18.8	
3 同じ病気の仲間との出会い	2	2.5	
4 通りがかってなんとなく	29	36.3	
5 その他	5	6.3	街なかカフェに興味があった、勉強のため、
99 無回答	2	2.5	

Q3 参加したイベント（複数回答）

	人数（人）	割合（％）
1 パンフレット	18	22.5
2 相談	24	30.0
3 癒しの樹	9	11.3
4 講演①	23	28.8
5 講演②	24	30.0
6 講演③	18	22.5
99 無回答	6	7.5

Q4 参加した満足度

	人数（人）	割合（％）
1 満足	49	61.3
2 やや満足	17	21.3
3 普通	7	8.8
4 やや不満	0	0.0
5 不満	0	0.0
99 無回答	5	6.3



「満足」の理由

- ・ わかりやすかった・ためになった・勉強になった（6）
- ・ 詳しい話が聞けた
- ・ 自分の考えの確認ができた
- ・ 共通の話ができてよかった
- ・ 制度のことが分かってよかった（2）
- ・ がんになった時の自分自身の心構え、治療等聞いてとてもよかった
- ・ 何を気を付けるかがよく分かった
- ・ 気軽にいろいろな情報が聞けた
- ・ 癌に関心を持っている人がたくさんいることがわかり、心強く思った
- ・ 不安に思っていたことを相談できたので

- ・ 高齢の義父（がんではない）の今後を考えると
- ・ 在宅介護もひとつの考えと思った
- ・ 医療費という聞きづらいことが分かってよかった

「やや満足」の理由

- ・ ミニ講演会が良かった
- ・ 知っていることの確認ができた
- ・ 気になっていた点が少し理解できた

「普通」の理由

- ・ 通りがかりで入る人が少ないなと思った

Q5 個人属性

● 年齢

	人数（人）	割合（％）
1 19歳以下	1	1.3
2 20～29歳	3	3.8
3 30～39歳	7	8.8
4 40～49歳	8	10.0
5 50～59歳	19	23.8
6 60～69歳	21	26.3
7 70～79歳	18	22.5
8 80歳以上	3	3.8
99 無回答	0	0.0

● 性別

	人数（人）	割合（％）
1 男性	22	27.5
2 女性	52	65
99 無回答	6	7.5

お住まい

	人数（人）	割合（％）	内訳
札幌市	68	85.0	札幌市内（19）、北区（17）、中央区（10） 南区（4）、白石区・手稲区・清田区・東区（各3） 豊平区・厚別区・西区（各2）
札幌市外	7	8.8	江別市（4）、石狩市・岩見沢市・小樽市（各1）
無回答	5	6.3	

● がんの体験（複数回答）

	人数（人）	割合（％）	自由回答
1 自分	25	31.3	
2 家族	30	37.5	
3 友人	17	21.3	
4 その他	5	6.3	親戚、妹、兄、患者さん
99 無回答or該当なし	20	25.0	

● お連れのお子さん

77名が無回答

3名の内訳 ～ 子供の人数は1～3名、年齢は0～14歳とまばらであった

Q6 意見・感想

- ・ 親切に相談に乗っていただきました
- ・ 良かった
- ・ 希少癌についても知りたい
- ・ 通りがかりで約束の時間があり最後まで15分以降聞けなくて残念
- ・ スタッフの方々がとても親切で、元気ハツラツのところが良かったです

- ・ 今後も続けてほしい
- ・ 食育、予防学等、必要 又各人の学習
- ・ このようなイベントを数多く行っていただけると嬉しい。決して他人ごとではない
- ・ 宣告されてまだ3カ月、いろいろ聞いてみたいと思いますがこれから経験することがいっぱいあってどこへでも行き聞いてみたいです
- ・ 癌のことをオープンに話せる機会が身のまわりにあることはよいことと思います
- ・ 素晴らしいイベント、ありがとうございます

相談内容集計結果

1. 性別

男性	10
女性	22

2. 立場

患者	18
家族	9
友人	1
その他	4

3. 年齢

20歳代	1
30歳代	3
40歳代	2
50歳代	6
60歳代	11
70歳代	8

4. がんの部位

乳腺	5
大腸	6
血液系	3
胃	2
膵臓	2
食道	2
肝臓	1
膀胱	1
前立腺	1
不明	2
記載なし	8

5. 相談対応の職種

医師	6
看護師	23
MSW	3
栄養士	2
社労士	4
ピア	0

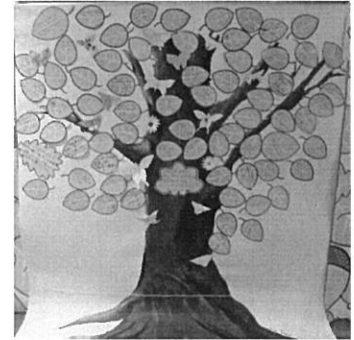
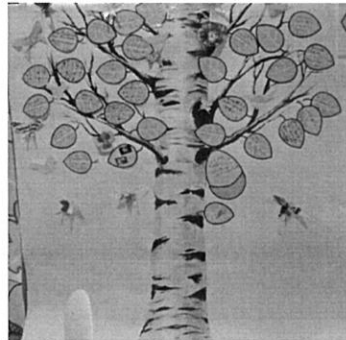
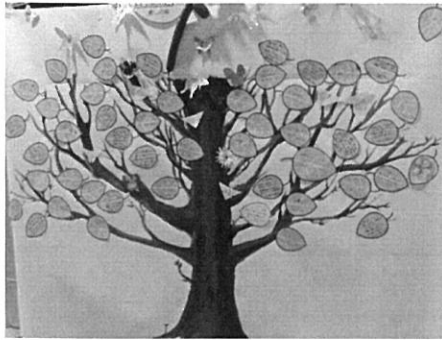
6. 相談時間

0-10分	8
11-30分	10
31-60分	9
61-90分	2
未記入	4

7. 相談内容(複数回答)

がん検診・予防	10
経済的相談	6
症状・副作用・後遺症に関する相談(化学療法)	3
受診・セカンドオピニオンに関する相談	3
食事・栄養に関する相談	3
在宅療養の相談	3
緩和ケアの相談	3
患者への支援方法・家族の悲嘆	3
職場の問題・就労の問題	3
再発・今後への不安	3
治療方針に関する相談	2
家族とのコミュニケーション	2
医療者とのコミュニケーション	1
その他	5

癒しの樹プロジェクト



メッセージの一部

- ◇ がんになっても会いたいです。そばに居たいです。笑顔が見たいです。
- ◇ 笑顔を教えてくれてありがとう。生きる嬉しさを教えてくれてありがとう。
- ◇ 辛くて悩むこと数え切れないほどあると思います。支えてくれる人は必ずいます。
- ◇ 悩まずに、明日を信じて、明るく前へ進んでいきましょう。つらくても道はひらかれます。 ～一人のがん経験者より～
- ◇ 私の幸せとあなたの幸せの価値は同じ。でも本当に幸せになったときに、それを強く深く感じることはできるのは、あなた。
- ◇ 私は夫をがんで亡くしました。あまりにも早く、何もしてあげる時間ありませんでした。今がんと闘っている皆様には是非がんに勝って、一日でも長く、平和な日々をすごして欲しいです。良い抗がん剤治療方法が一日でも早くみつかるよう祈っています。
- ◇ じじ、げんきになりますように♡
- ◇ 小さい喜びが、大きな花になりますように
- ◇ 辛いときは、泣きましょう、甘えましょう。
- ◇ 大切な人を支えるあなたにも、ほっとする時間、支えてくれる人がありますように
- ◇ 今でも十分頑張っています。頑張れない時があっても大丈夫です。頑張れない、頑張りがたくない時間は、次に頑張るための充電の時間です。私たちが充電のお手伝いをします。 ～看護師～
- ◇ がんになっても、あなたはあなたです。私にとってあなたはいつまでも大切な存在です。
- ◇ 迷惑かけるなんて、申し訳ないなんて、思わないで。今まだそうしてもらってきたのだから当たり前のことです。ただ笑顔がみたいだけです。
- ◇ いつでも、どんなときでも、あなたに寄り添っています。あるがままのあなたでありますように
- ◇ 元がん患者の私は、少しは辛さをわかるつもりですが、辛さは人それぞれなので、気軽に、がんばれとか、大丈夫とは言えません。けど病気に勝てば、きっと楽しい生活が待っていると思います。負けないうでください。